



学校だより

横浜市立桂台小学校
学校長 渡邊 勉
横浜市栄区桂台南 1-1-1
TEL 891-8000

令和3年度 3月号

「今年度の数々のご支援に感謝申し上げます。」

校長 渡邊 勉

柔らかな日差しに春の訪れを感じる季節となってきました。早いもので、令和3年度も最後の月となり、いよいよ一年間の締めくくりの時期を迎えました。今年度も、コロナウイルス感染症予防の対応をしながらの教育活動となりましたが、子どもたちは、その時にできる最大限の活動を行って成長を続けてきました。しっかり学習のまとめをして令和4年度の新しい学年に進級して行ってほしいと思います。令和4年度には、いくつか変更点があるのでお伝えします。

毎年「ふれあい懇話会」(まちとともに歩む学校づくり懇話会)として学校づくりに関する意見交換を地域の皆様方と行ってまいりましたが、次年度から「学校運営協議会」を設置いたします。「学校運営協議会」とは、地域・保護者・有識者などの皆様と学校が目標を共有し、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みです。各自治会の会長様やPTA、桂台中学校、桂台保育園の代表の方々、主任児童委員様や地域の福祉施設の方々にふれあい懇話会に参加していただいておりますが、次年度からは学校運営協議会委員としてご参加いただく予定です。

併せて、地域学校協働活動を推進していただく「地域学校協働本部」も設置いたします。地域の方々の参画により、連携協働し、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を推進していくものです。その活動の中心となって学校と地域をつなぎ、架け橋として活動していただくのが、学校・地域コーディネーターの方々です。皆様のお力をお借りしながら、令和4年度の桂台小学校の教育活動がますます充実し、子どもたちの豊かな成長につながっていくことを願っております。

また、次年度の各学年の時間割についても変更させていただきます。教育委員会からの『令和の時代における「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現に向けた考え方について』という通知では、「質の高い学び」と「持続可能な学校」は、両輪として一体的に進めていくものであると共に、教育課程の編成・実施では限られた時間の中で質の高い教育活動をする必要があると記載されています。今後児童に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、一人ひとりを大切にしたい学びの実現を図るための教育課程、そして地域や外部人材の活用を図り地域や社会で子どもたちを育む教育課程になるよう努めると共に、教科等の予備時数を削減するなど限られた時間の中でメリハリを付けた質の高い学びを実現するよう努めてまいります。具体的には、高学年では委員会・クラブのある日は今まで通り6時間授業としますが、それ以外の曜日は15時までには下校できるよう、6時間目を設定せずに5時間目を60分授業とします。その他の学年でも午後の時間割を変更いたします。詳しくは別頁の「資料1」をご覧ください。

そして、今まで委員会・クラブは金曜日に実施しておりましたが、令和4年度からは木曜日に実施します。併せて、火曜日の昼休みは時間を長くしたロング昼休みとし、たっぷり遊びに没頭できる時間としたり、委員会やかつらっこ活動、クラスの係活動の時間としたりすることで、子どもたちの活動がより充実したものになるようにしていきます。

最後に、新6年生のクラス数を現状の2クラスから3クラスへ変更します。新6年生は、他学年と比べて1学級あたりの人数が36人と多く、国も順次35人以下学級となるよう政策を進めているところです。また、令和2年度からコロナ感染症予防のため隣の児童と間隔を空けて机を配置しておりますが、高学年のため机も大きく人数も多いため、他学年と比べて密を回避することが難しい現状があります。次年度も感染症の対策は引き続きしていかなければならないと予想されます。そこで、3クラスに分け、1学級あたりの人数を少なくすることで、密を回避すると共に、児童をきめ細かく指導支援することもでき、多くの担任が子どもたちに関わることができるようになります。それに伴い、次年度は算数少人数指導は行わず、6年担任を3人とさせていただきますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

今年度も地域・保護者の皆様には、本校の教育活動に対し温かいご支援ご協力をいただきました。これまでの数々のご厚情に感謝申し上げますとともに、これからもますますのご支援、どうぞよろしくお願い申し上げます。